

東京大学サイエンスキャンプ講評

与論高校・校長の大倉です。

本日は、大槌高校・古仁屋高校・与論高校の生徒の皆さん、素晴らしい成果発表をありがとうございました。長期にわたる研究活動の中で、様々な調査・実験・分析等を行ってきたと思います。なかなか、思うようにいかず、思い悩んだこともあったのではないでしょうか。また、その分析結果を受け手にわかりやすく報告・発表するためには、どのような構成にすれば良いかを考えることにも、恐らく苦労したのではないかと思います。今日の発表も自分たちの満足のいくものであったかどうかはこちらからは分かりませんが、東京大学の最新の設備を利用させていただきながら、高校の垣根を越えて実験や考察を深められたことは、今後、上級学校等で学びを進めていく皆さんには大変貴重な経験になったことは間違いないと思います。また、大槌・古仁屋・与論のそれぞれの地域で研究を進めることにより、研究対象としたものだけでなく、より一層自分の住む地域に対する興味・関心・愛着が増したのではないか、ということも私は期待しています。そういう地元を愛する活き活きとした皆さんの姿こそが、それぞれの学校の魅力発信にも繋がり、今の小中学生たちの憧れとなり、彼らがこのような研究活動の後を継いでくれることを私は期待しているところです。

最後に、我々高校側にこんなにも貴重な機会を提供くださった東京大学大気海洋研究所の皆様と、与論町海洋教育推進協議会の皆様に感謝申し上げますとともに、大槌高校・古仁屋高校・与論高校が今後とも様々な場で協働していただけることを期待いたしまして、私の講評といたします。本日はありがとうございました。